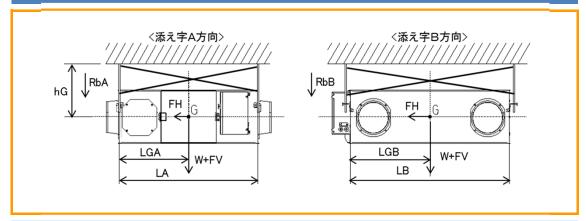


## 業務用ロスナイ耐震強度検討書

## 「LGH-RN15RXV(D)(既設:LGH-15[RS2 / RS3 / RS4](D))」耐震強度検討書



## 計算条件

## お客様ご指定条件

<ul><li>製品質量 W =</li><li>重心高さ hG=</li><li>製品上面~天井面</li></ul>	23.0 kg 500.0 mm 355.0 mm	<ul><li>▶ ボルトから重心 までの距離</li><li>▶ ボルトサイズ</li></ul>	LGA= LGB=	320.0 309.0 M10	mm mm
ボルトスパン LA=	700.0 <sub>mm</sub>	▶ ボルト総本数	n =	4	本
LB=	641.0 mm	▶ 片側ボルト本数	ntA =	2	本
			ntB =	2	本

各設計用標準震度、地域係数に対する計算結果											
設計用標準震度	設計用標準震度 KS		1.0		1.5		2.0				
地域係数	地域係数 Z		1.0		1.0		1.0				
設計用水平震度	設計用水平震度 KH=KS×Z		1.0		1.5		2.0				
設計用水平地震力	$FH=KH\times W\times 9.8$	0.23	kN	0.34	kN	0.45	kN				
設計用鉛直地震力	FV=FH/2	0.11	kN	0.17	kN	0.23	kN				
アンカーボルト引抜力		・ボルトスパンA側(RbA)									
FH×hG+(W×9.	8+FV) × (L-LG)	0.17	kN	0.23	kN	0.28	kN				
Rb= L×nt ・ボルトスパンB側(RbB)											
*L:LA又はLB、LG:LGA	またはLGB、nt:ntA又はntB	0.18	kN	0.23	kN	0.29	kN				
アンカーボルトせん断応力原	ŧ										
_ <u>FH</u>	A:ボルト断面積	0.10	kN/cm2	0.15	kN/cm2	0.20	kN/cm2				
$\tau = \frac{1}{\text{n-A}}$	M10 0.55 cm2										
各アンカーボルトの短期許容引抜荷重に対する安全率											
あと施工金属拡張アンカーで 施工方法: コンクリート厚さ 埋込寸法45mm、限度100mm		21.7	倍	16.2	倍	13.0	倍				
各アンカーボルトの短期許容せん断応力度に対する安全率											
ポルト(SS400)		98.6	倍	65.7	倍	49.3	倍				
短期許	F容せん断応力度:10.1 kN/cm2	00.0	114	00.7	114	10.0	114				
ステンレスボルト(A2-50) 短期許	- 容せん断応力度: 9.12 kN/cm2	89.0	倍	59.3	倍	44.5	倍				
以上の計算結果において、上記アンカーボルトM10はいずれも十分な強度を有する											

- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」を参照しています。
- ・本検討書は上記条件を元にしたアンカーボルトについての強度検討書であり、製品の耐震強度を保証するものではありません。